

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (1/4)

学部・学科	総合社会学部・総合社会学科	職名	教授	氏名	ハシモト カズヤ 橋本 和也
学歴	昭和53年 3月 國學院大学文学部文学科卒業 昭和53年 4月 埼玉大学教養学部文化人類学講座聴講生 昭和56年 3月 大阪大学大学院博士課程前期 人間科学研究科人間学専攻修了 昭和62年 3月 大阪大学大学院博士課程後期単位取得後満期退学				
学位	昭和56年 3月 人間学修士 (大阪大学) 平成 7年 3月 人間科学博士(大阪大学 第11935号)				
専門分野	文化人類学 (フィジー諸島 観光、キリスト教、スポーツ、政治変動に関する研究)				
専門資格	専門社会調査士 (000358号)				
所属学会	昭和54年 4月 日本文化人類学会 (評議員「平16-20, 平22- 26」) 昭和62年 4月 日本オセアニア学会 (評議員「平18-22」) 平成13年 日本スポーツ人類学会 平成24年 2月 観光学術学会 (副会長「現在に至る」)				
受賞					
担当授業科目	学 部 文化人類学演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文、実践人類学実習A、実践人類学実習B、オセアニア研究、観光文化論、初年次演習、フィールド調査法、フィールドデータ処理法、フィールドワーク実習AⅠ、フィールドワーク実習AⅡ <hr/> 大学院 文化人類学基礎研究法演習Ⅱ、文化人類学研究法演習Ⅱ、現代文化研究Ⅲ (観光・地域開発論)、現代文化研究演習Ⅲ (観光・地域開発論)				
論文指導	論文指導担当[主査] (卒論：5名、修士論文：1名) 論文審査担当[副査] (修士論文：0名)				
教育実績 (FD 活動)	<ul style="list-style-type: none"> 初年次演習におけるチーム・ティーチングの実践 FW実習におけるチーム・ティーチングの実践、及び企業人をコメンテーターに招いて学生のプレゼンテーションを行い、評価・アドバイスを受けた。 				
その他の教育実践活動実績	実践人類学演習において、学生が「宇治橋通り商店街」で「ええもん市」を3月～6月、9月～11月まで商店街と協働で開催した。				
H25 年度研究課題	学部・大学院共通 1. 観光まちづくりと地域振興に寄与する人材育成のための観光学理論の構築 2. 「地域文化観光」「観光経験」の観光学的研究 3. 宇治地域と金沢におけるFW調査 4. 宇治橋通り商店街における個性店プロジェクトの遂行				
年度の研究活動の概要 平成二十五(2013)	1. 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金「観光まちづくりと地域振興に寄与する人材育成のための観光学理論の構築」に関する研究活動を行った。(後述：(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)) 2. 地域文化観光に関する講演会の講師として講演をした。 3. 宇治地域と金沢におけるFW調査をおこなった。 4. 個性店プロジェクトを推進した。				

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (2/4)

平成二十五(2013)年度の主な研究成果等	<p>(著書)</p> <p>1. 『『地域文化観光』の可能性』、単著、平成25年7月、一般社団法人地方行財政調査会、第37回行財政研修会東京セミナー『観光を考える』講演シリーズ第112号 (pp. 29-57)</p>
	<p>(論文)</p> <p>(学会報告、学会活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本文化人類学会評議委員として、学会評議委員会に出席。 ・ 観光学術学会の副会長として、理事会・評議委員会に出席。7月の第2回大会 (於:奈良県立大学) には会長代理・発表会座長としての任務を遂行した。
	<p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <p>書評:</p> <p>1. 「『宗教ツーリズム』研究の幕開け」、山中弘編著『宗教ツーリズム —聖なるものの変容と持続』、単著、平成25年9月、観光学術学会 観光学評論第1巻2号 (pp. 227-230)</p>
	<p>(調査活動)</p> <p>平成25年 9月 「九州ツーリズム大学・豊後田染荘の調査」 (科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金課題番号25501025 : 後述)</p> <p>平成25年 6月 「石川県金沢市・湯湧温泉における観光調査」(FW実習)</p>
	<p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>平成25年度-平成28年度</p> <p>科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金 (基盤研究C・一般)「観光まちづくりと地域振興に寄与する人材育成のための観光学理論の構築」(課題番号25501025) 研究代表者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 共同研究会の開催 (平成25年度内 3回) 2. シンポジウムの開催:「大学における地域・観光人材育成の課題と展望」、平成26年2月、キャンパスプラザ京都 (京都文教大学サテライトキャンパス)
平成二十五(2013)年度社会における活動	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇治市文化財保護委員「平16より」
	<p>(小中高との連携授業の講師)</p> <p>平成25年 5月 京都文教高等学校ALP「観光の楽しみと、観光創造の楽しみー観光・地域デザインコースでの学びー」、於:同校</p>
	<p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成25年 7月 一般社団法人地方行財政調査会 第37回行財政研修会東京セミナー「観光を考える」、対象者:行財政研修会東京セミナー参加者、『『地域文化観光』の可能性』、於:帝国ホテル</p>
平成二十〜二十四(2008〜2012)年度の主な研究成果等	<p>(著書)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『観光経験の人類学 —みやげものとガイドの「ものがたり」をめぐって—』、単著、平成23年2月、世界思想社、272p 2. 「一日フィールドワーク」『フィールドでの謝礼・謝金』、単著、平成23年6月、世界思想社、日本文化人類学会監修、鏡味治也・関根康正・橋本和也・森山工共編、『フィールドワーカーズ・ハンドブック』(pp. 37-60, 104-105) 3. 「ポスト「ポスト・コロニアル」状況下のフィジー —四度目のクーデターのあとで」、単著、平成24年8月、風響社、須藤健一編、グローカリゼーションとオセアニアの人類学 (pp. 183-211) 4. 「ホカートの知的挑戦の現代的意味」、単著、平成24年12月、岩波文庫、王権 (橋本和也訳:後述 (その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) 1. , pp. 401-425)

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (3/4)

平成二十二年四月(2008～2012)年度の主な研究成果等

(論文)

1. 「フィジーの新たな展開 ―四度目のクーデターのあとで―」、単著、平成20年5月、平成16-19年度科学研究費補助金(基盤研究A・海外学術)「オセアニア島嶼国におけるグローカリゼーションと国民文化に関する人類学的研究」(課題番号16251008, 研究代表者: 神戸大学・国際文化学研究所・教授 須藤健一) 研究成果報告書 (pp. 98-116)
2. 「観光経験と真摯さ ―実存的アプローチに向けて―」、単著、平成21年3月、京都文教大学 人間学部研究報告第11集 (pp. 1-15)
3. 「フィジーの国民スポーツ「ラグビー」」、単著、平成21年10月、国立民族学博物館監修、季刊民族学130号 (pp. 40-45)
4. 「「ポスト・『ポスト・コロニアル』」状況における軍事政権 ―フィジー、2006年ミリタリー・クーデターのその後―」、単著、平成24年3月、京都文教大学 人間学部研究報告第14集 (pp. 47-62)
5. 「観光学の新たな展望 ―なぜ、いま「観光経験」なのか」、単著、平成25年3月、観光学術学会『観光学評論』第1巻1号 (pp. 19-34)

(学会報告、学会活動)

1. 日本文化人類学会の『フィールドワーカー・ハンドブック』編集委員 (平成20・21年度)
2. オセアニア学会 評議委員 (平成21年度)
3. 「みやげものと観光経験 ―「ものがたり」の役割―」、単独、平成22年6月、日本文化人類学会第44回研究大会、立教大学
4. 日本文化人類学会 評議員・座長、平成23年6月、日本文化人類学会第45回研究大会、法政大学
5. 日本文化人類学会博士論文発表会 座長(司会)、平成23年7月、立命館大学
6. 基調講演「観光人類学から見たスポーツ文化」、単独、平成23年10月、第13回生涯スポーツ学会研究大会、大阪経済大学
7. 「観光学の新たな展望 ―なぜいま「観光経験」なのか」、単独、平成24年7月、観光学術学会第1回大会 シンポジウム1「観光学の確立に向けて」、和歌山大学

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

翻訳:

1. A. M. ホカート著『王権』、単訳、平成24年12月、岩波文庫、425p

学術講演:

1. 「キリスト教とナショナリズム ―フィジー・イメージの出現」、単独、平成23年2月、国立民族学博物館共同研究「キリスト教文明とナショナリズム ―人類学的研究」研究会

(調査活動)

- 平成20年 「地域文化観光」調査のため、炭坑まちおこしを推進している大牟田市と、四国巡礼の起点となる徳島市の調査を行った。
- 平成21年 8月 「観光経験の人類学 ―みやげもの・ガイドのものがたりをめぐる―」の調査、於: 横浜・鎌倉・江ノ島
- 平成23年 9月-10月 「2006年クーデター以後の政治状況について」の調査、於: フィジー諸島共和国
- 平成25年 3月 「教会遺産の調査」(個人研究費)、於: 長崎県五島列島・長崎

(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)

- 平成20年 8月 「まちづくりに挑戦 ～「問題発見+提案型フィールドワーク」を学ぼう～」(日本学術振興会「ひらめき・ときめき・サイエンス」)の開催。高校生に商店街振興のための実践を体験してもらい、研究成果の還元をはかった。

(学内活動)

- 平成12年 4月 入試委員会委員「平21.3まで」
大学運営委員会委員「平22.3まで」
- 平成18年 4月 学部人事委員会委員「平21.3まで」
大学教学委員会委員「平22.3まで」

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (4/4)

<p>平成二十 ～二十四 (2008～2012) 年度の 主な 研究 成果等</p>	<p>(学内活動 つづき)</p> <p>平成18年 4月 大学予算委員会委員「平22.3まで」 広報委員会委員「平21.3まで」 自己点検・評価委員会委員「平22.3まで」 危機管理委員会委員「平22.3まで」 FD委員会委員「平21.3まで」</p> <p>平成21年 4月 将来構想会議委員「平22.3まで」 就職委員会委員「平22.3まで」</p> <p>平成22年 4月 自己点検・評価 教育研究専門委員会委員「平23.3まで」 教務委員会委員「平23.3まで」 人間学研究所所員「平25.3まで」</p> <p>平成23年 4月 就業力育成支援委員会委員「平25.3まで」</p> <p>平成24年 4月 自己点検・大学院委員会委員「現在に至る」 自己点検・評価 学生サービス専門委員会委員「平25.3まで」 学生委員会委員「平25.3まで」</p>
<p>平成二十 ～二十四 年度の 社会に おける 活動 (2008～2012)</p>	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託)</p> <p>平成16年 宇治市文化財保護委員「現在に至る」 平成16年 宇治市産官学連携システム研究会産業振興部会部会長「平22.3まで」</p> <p>(その他)</p> <p>平成20年-平成22年 宇治橋通り商店街で毎月「ええもん市」を開催 平成23年 5月 京都文教教養講座「観光みやげの人類学」講師、「観光みやげの文化人類学 について」、於：京都文教大学</p>